

紅林章央の橋歩き

～No.28 トラス橋編④菟砥川橋～

「日本は広い、いろいろな橋があるなあ」。そんな言葉が、この橋を見て思わず口から出た。鋼ボーストリングトラス橋にコンクリートを巻き立て、補強したのでは？ そう、頭をよぎった。しかし、圧縮が支配的なアーチ橋ならともかく、トラスでは巻き立てのメリットはない。橋がある大阪府堺市に問い合わせると、建設当時の写真があるというので、送って頂いた。なんと、当初からRCボーストリングトラス橋だったのである。欧州などにはあるが、国内では唯一。しかも、大正時代という珍品である。大阪府といっても和歌山県境に近く、交通の便が悪いが、出張のついでにも、足を延ばして見る価値は十二分にある。



うどがわばし 1926年(大正15年)
L=20m W=4m 男里川(おのさとがわ)の支流・菟砥川をまたぐ市道に架かる



ネオハクリ工法NE-1の吹付け作業(ネオス提供)

ネオスは近年、橋梁向け塗膜はく離剤「ネオハクリ工法(NETIS登録CG・170006・VR)」の採用実績を急速に伸ばしている。同社の橋梁向け製品は2種類ある。ネオハクリ工法「NE-1」は、既設塗膜がA塗膜系(注1)やB塗膜系(注2)に対し、良好なはく離性を示す。同「NE-3」は、通常ははく離性が劣る低温下やC塗膜系(注3)塗膜に対しはく離性を発揮できる。2製品とも、①消防法上の非危険物の環境や人体への影響が少ない中性タイプの薬品③塩素系有機溶剤シクロロメタンを含まず、PRT法に非

時日本を離れて海外を歩くと、勉強になり、そして楽しい思い出が残る。愛称キョクメタ・極東メタリコン工業(兵庫県宝塚市)代表取締役専務の小寺健史さん、末

研究センター(東京都台東区)主任研究員の中山和俊さん、特殊高所技術(京都市)執行役員の片山英資さんの仲良し3人は、アメリカを旅した。小寺さんの報告をシリ

ズでお届けしている。(最初のサンフランシスコ湾の吊橋・ゴールデンゲートブリッジ)CG・BIIの塗装塗替え工事現場視察は4月1日付と5月1日付に掲載。

【ロサンゼルス・ハイウェイ現場視察】ロサンゼルス・ダウンタウンにある州間高速道路10号の現場を視察した。ロサンゼルス川に架かり、幅員が幅広い鉄骨橋梁。この落橋防止システムは、橋脚に穴を開けて躯体の裏側で定着させている。珍しい形式で、国内では目にしたこ

た。足場はC型と同様、クイックデッキとシュリンクラップ・熱収縮シートが採用されていた。ちようど足場の架設時だったが、施工自体は日本とそれほど差がないように思えた。大きな違いは、ムキムキの人達が作業していたところだろうか。この現場で驚いたのは、やはり作業空間と養生である。弊社も既に国内で10件近く現場施工を

た。足場はC型と同様、クイックデッキとシュリンクラップ・熱収縮シートが採用されていた。ちようど足場の架設時だったが、施工自体は日本とそれほど差がないように思えた。大きな違いは、ムキムキの人達が作業していたところだろうか。この現場で驚いたのは、やはり作業空間と養生である。弊社も既に国内で10件近く現場施工を

た。足場はC型と同様、クイックデッキとシュリンクラップ・熱収縮シートが採用されていた。ちようど足場の架設時だったが、施工自体は日本とそれほど差がないように思えた。大きな違いは、ムキムキの人達が作業していたところだろうか。この現場で驚いたのは、やはり作業空間と養生である。弊社も既に国内で10件近く現場施工を

た。足場はC型と同様、クイックデッキとシュリンクラップ・熱収縮シートが採用されていた。ちようど足場の架設時だったが、施工自体は日本とそれほど差がないように思えた。大きな違いは、ムキムキの人達が作業していたところだろうか。この現場で驚いたのは、やはり作業空間と養生である。弊社も既に国内で10件近く現場施工を

冬季はく離性が好評 実績が40万㎡に拡大

橋梁向け塗膜はく離剤。2019年度の出荷ペースは前年度比1.5倍の185万㎡分に拡大したが、橋梁通信社の独自調査で分かった

(5月15日付7面掲載)。第1回は、新規参入の複数メーカー・販売代理店がシェア拡大に力を注いでいる。市中央区、葛原葛原社長を取材した。

◆ ◆ ◆

ネオスは近年、橋梁向け塗膜はく離剤「ネオハクリ工法(NETIS登録CG・170006・VR)」の採用実績を急速に伸ばしている。同社の橋梁向け製品は2種類ある。ネオハクリ工法「NE-1」は、既設塗膜がA塗膜系(注1)やB塗膜系(注2)に対し、良好なはく離性を示す。同「NE-3」は、通常ははく離性が劣る低温下やC塗膜系(注3)塗膜に対しはく離性を発揮できる。2製品とも、①消防法上の非危険物の環境や人体への影響が少ない中性タイプの薬品③塩素系有機溶剤シクロロメタンを含まず、PRT法に非

該当④生分解性に優れ(NETIS・1002)易分解性、水生生物への低毒性も実証⑤低臭・低刺激性などの特徴がある。同社は元々、自動車向けはく離剤を中心に半世紀に及ぶ実績を持つ。新規の市場を模索したところ、橋梁向け塗替え市場が拡大傾向にあることを把握し、16年度に

イオハクリXの生産を終了した。背景は、①溶剤系塗膜はく離剤は、火災事故につながる得る要因があり、安全面での課題があった②自社開発の橋梁向け水系はく離剤「パイオハクリX」は生産・販売を継続している。

が客先から好評を得た。同社化成部品マーケティング課の菊池洋平課長は、実績増の要因として、①市場自体が好調②販売窓口である日本ペイント(東京都品川区・喜田益夫社長)を始め、各種販売店を通じた全国的な販売展開と、それに伴う知名度の向上③ライバル製品と比較し

た。足場はC型と同様、クイックデッキとシュリンクラップ・熱収縮シートが採用されていた。ちようど足場の架設時だったが、施工自体は日本とそれほど差がないように思えた。大きな違いは、ムキムキの人達が作業していたところだろうか。この現場で驚いたのは、やはり作業空間と養生である。弊社も既に国内で10件近く現場施工を

た。足場はC型と同様、クイックデッキとシュリンクラップ・熱収縮シートが採用されていた。ちようど足場の架設時だったが、施工自体は日本とそれほど差がないように思えた。大きな違いは、ムキムキの人達が作業していたところだろうか。この現場で驚いたのは、やはり作業空間と養生である。弊社も既に国内で10件近く現場施工を

た。足場はC型と同様、クイックデッキとシュリンクラップ・熱収縮シートが採用されていた。ちようど足場の架設時だったが、施工自体は日本とそれほど差がないように思えた。大きな違いは、ムキムキの人達が作業していたところだろうか。この現場で驚いたのは、やはり作業空間と養生である。弊社も既に国内で10件近く現場施工を

た。足場はC型と同様、クイックデッキとシュリンクラップ・熱収縮シートが採用されていた。ちようど足場の架設時だったが、施工自体は日本とそれほど差がないように思えた。大きな違いは、ムキムキの人達が作業していたところだろうか。この現場で驚いたのは、やはり作業空間と養生である。弊社も既に国内で10件近く現場施工を

た。足場はC型と同様、クイックデッキとシュリンクラップ・熱収縮シートが採用されていた。ちようど足場の架設時だったが、施工自体は日本とそれほど差がないように思えた。大きな違いは、ムキムキの人達が作業していたところだろうか。この現場で驚いたのは、やはり作業空間と養生である。弊社も既に国内で10件近く現場施工を

国土交通省 新技術情報提供システム NETIS登録 No.CG-170006-VR

鋼構造物用水系塗膜剥離剤 **ネオハクリ工法™**

【ハイバランス万能型】 【低温時および難剥離塗膜特化型】

NE-1 / NE-3

環境対応型	卓越した塗膜除去性
低刺激	低臭気

鋼構造物用中性型水系塗膜剥離剤 NE-1の塗膜除去性

NE-1 塗布後

塗布 24 時間後

塗膜除去後

低温時施工及びウレタン、フッ素等の難剥離塗膜にはNE-3が有効です

株式会社 **ネオス**

現場の様子

難しい。こちらでは桁端部や高欄下の取合いまですべて、非常に細かく施工されていた。

もった天板だろうと想像して、日本、全員の反対で、日本の現場よりシビアな施工である。想像物を言うってはいけない。目で見て確認をしない。本当のこととは分らない。勉強になった。

GCBでもそうだった。が、作業空間の広さは本場と違う。日本は中絶定場がないことだ。これによって作業空間が狭くなり、また早期腐食の原因の一つでもあるラングや足場材の当り面を減らせる。

日本の橋梁現場の多くは、立つて歩けなかったり、中腰での施工を強いられたりと、作業員の負担が大きいように思う。もちろん、すべての足場で作業空間を確保できる訳ではないが、この辺りでも働き方改革できれば、もっと作業効率や品質向上につながるのではないかな。

表の話には余り出てこない、隠れた働き方改革だと思ふ。

さて、旧塗膜の塗装系。プラスト後はシンクを塗布することは分かった(英語力がなければ、中学一年の娘と一緒に、駅前に留学しよう心に決めました！)

(続く)